

8月12日(土)発行

MUZA
KAWASAKI
SYMPHONY HALL

ほぼ 日刊サマーミュージック

Hobo Nikkan Summer Muza



ホットな夏の祭典 華やかに終幕!

8/11 東京交響楽団 フィナーレコンサート

東京交響楽団によるフィナーレコンサートには、同団正指揮者の原田慶太楼が4年連続での登場。今年もフェスタの締め括りにふさわしい楽しいコンサートを披露してくれた。

1曲目はラヴェルの「道化師の朝の歌」。冒頭の弦楽器のピッツィカートから目覚ましい音色。鮮やかでカラフルな演奏。踊るような音楽。ファゴットのソロも魅力的。マルケスの「ダンソン」からは、有名な第2番ではなく2017年作曲の第9番が選ばれた。原田が激しくリズムにオーケストラを鼓舞。キレのよい音楽。哀愁を帯びた旋律は濃厚に歌う。そして、邦人作品の紹介に力を入れている原田は、

今年は芥川也寸志の「交響管弦楽のための音楽」を取り上げた。20世紀ノ連を想起させるモダンで聴きやすい作品。第1楽章は軽快、第2楽章は弾むような躍動感。

演奏会後半は、まず、ラヴェルのピアノ協奏曲。独奏の清塚信也は、自由度の高い演奏を展開。第2楽章冒頭の表情はたつぷりと。第3楽章ではオーケストラとのセッションを楽しむ。ソロ・アンコールで、「道化師の朝の歌」を交えながらラヴェルの「亡き王女のためのパヴァーヌ」を自らジャズ風にアレンジした「亡き王女のための Chill」を演奏。これがなかなか洒落っていて面白かった。そして最後は、

チャイコフスキーの「眠りの森の美女」組曲。原田は大きな起伏でドラマティックに作品を描き、「ダンス」をベースにしたプログラムを華やかに結んだ。アンコールには、芥川也寸志の行進曲「風に向かって走ろう」。聴衆の手拍子も加わって、ホットな夏の祭典に終わりが告げられた。また来年!!

(山田治生/音楽評論家)



プレトークの様子



ほぼ日
編集部より

今年も無事ですべての号を発行することができました！たくさんのご感想をお寄せいただき、本当にありがとうございました。バックナンバーは、ホール入口前チラシラックで8月27日迄、およびサマーミュージックの公式サイトでご覧いただけます。

LINEスタンプ 好評発売中

(全16種・税込120円)



左から、原田慶太楼(指揮)、最上峰行(オーボエ & イングリッシュ・ホルン)、清塚信也(ピアノ)

ご来場者の声

まさに、ダイナミック!夏のフィナーレに相応しい迫力満点な演奏&指揮でした。今回初めてだったので来年も楽しみにします。(40代・会社員・ペンネ M) / 原田さんの躍動感あふれる指揮、すばしかったです! 昨年のフィナーレ同様、なぜこの曲を選んだか、という理由を事前に説明してくださいとより楽しめました。東響は聴くたび「今日来て本当に良かった!!」と思えるすばらしいオケ! これからも楽しみにしています♡(40代・自営業・チャーコ) / 今までにない、あたらしい世界の音楽を聴いたような時間でした。(20代・学生・オトノイドリ) / しきしゃとピアノが重なるように聴こえて、とても美しかった。とくにラヴェルは、音が飛ぶようだったからいいと思った。またききたい。(10歳未満・万理絵) / 今日は、ステージを真横から見席だったので、オーケストラの渦に吸い込まれそうになりました! 拍子がコロコロ変わるリズム系の曲は聴くのが苦手でしたが、今日はオーケストラの音に身を委ねて聴いていたらとても楽しかったです。(50代・Nori) / プレトークがあることで、これから演奏される楽曲への興味が増し、より演奏が楽しめた。踊りというテーマで組まれている統一感も良かったし、また、アンコールの最後は皆で手拍子をし、一体感を得られワクワクしました。100点満点の演奏会でした♪(60代・無職・アラレ) / ダンソン第2番でなく、第9番をとりあげてくれたところがスバラシイ!! 初めて聴きましたが、ヤミツキになる曲でした。原田さんの指揮もおもしろくてステキー!! 清塚さんのピアノ、遊んでいるみたいで本当に楽しんで演奏しているのが伝わってきました。本当に楽しかったです!! プラボー!! (30代・会社員・タコ) / プレトークに始まり、公演はもちろん、最後のアンコールに至るまで楽しみました。素晴らしいね! 来年のサマーミュージックが待ち遠しい。(70代・無職・シロちゃん)

祭りの賑わいが戻った21日間・19公演！ 総来場者数は約2万6千人 ありがとうございました



【左上から敬称略】7/22 東京交響楽団 オープニングファンファール | 7/29 出張サマーミュージーザ@しんゆり！ 神奈川フィルハーモニー管弦楽団(熊倉優、横坂源、古海行子) | 8/10 神奈川フィルハーモニー管弦楽団(沼尻竜典、辻井伸行) | 8/11 読売日本交響楽団(セバスティアン・ヴァイグレ) | 8/9 日本フィルハーモニー交響楽団(カーチン・ウォン、須川展也) | 8/2 東京交響楽団 フィルハーモニー交響楽団(出口大地) | 7/30 山形交響楽団(鈴木秀美、石上真由子) | 7/25 洗足学園音楽大学 | 8/8 日本センチュリー交響楽団(秋山和慶、HIMARI) | 8/11 東京交響楽団 フィルハーモニー交響楽団(原田聖太、清塚信也) | 7/22 東京交響楽団 オープニングコンサート(ジョナサン・ノット) | 8/5 真夏のパヴァリア | 8/5 イッツ・ア・ピアノ(ワグネル) | 8/11 小川典子、田久保晴恵 | 7/26 東京シティ・フィルハーモニック管弦楽団(高岡健) | 8/6 新日本フィルハーモニー交響楽団(広上淳一) | 7/29 NHK交響楽団(キムボ・イシイ、マルティン・ガルシア・ガルシア) | 8/5 出張サマーミュージーザ@しんゆり！東京交響楽団(広上淳一) | 7/23 サマーナイト・ジャズ | 8/7 昭和音楽大学(時任康文) | 7/28 東京都交響楽団(大野和久、久未航) | 撮影：池上直哉(7/22、7/25、7/30、8/1、8/5 しんゆり公演、8/6、8/10)、平塚平(7/28、7/29、8/2、8/5、8/7、8/8、8/11)、藤本史昭(7/23、7/29 しんゆり公演)、増田雄介(7/26、8/9)

日刊サマーミュージーザ
は Webでも公開中!



フェスタサマーミュージーザ公式サイト
<https://www.kawasaki-sym-hall.jp/festa/>

#サマーミュージーザ
#お待ちどうサマー♪
で検索 & 投稿
お待ちしております!



Twitter: @summer_muza

Facebook: @kawasaki.sym.hall

Instagram: @muzakawasaki

スタツフ日誌

例年以上の猛暑のなか、連日多数のお客さまにご来場いただき、誠にありがとうございました。今年は海外渡航やマスク等の制限も撤廃され、ほぼコロナ禍以前のようにコンサートを楽しめる環境が戻りました。3年強のコロナ禍を経て、ナマの音楽を聴ける有り難さが、聴衆だけでなく演奏者にも実感として拡がり、日本の音楽シーンのレベルが(客席も舞台上も)一段上がったような気がするの、私だけでしょうか？

サマーミュージーザも19回目、創設当初は「クラシック音楽の敷居を低く」をモットーにしていました。近年は各楽団が指揮者やプログラムに拘り、「他の楽団には負けられない」とばかりに熱演を繰り広げるようになりました。さらに第15回(2019)からは首都圏以外の楽団も参加、今年は山形と大阪から、いずれも小さめの編成で「シュールベルト対決」も素晴らしい、甲乙つけがたい名演でフェスを盛り上げていただきました。

まだ残暑は続きますが、まもなく秋の音楽シーズンが開幕します。海外オーケストラに東京交響楽団、パイプオルガン、ピアノ、そしてジャズ。魅力的な公演が並びますので、どうぞ引き続きミュージーザにご注目ください。

そして来夏のサマーミュージーザは20回記念!どんな夏になるのでしょうか。
(事業部長・山本浩)